

# 正しく分別資源物

市では、循環型社会の形成に向け、平成12年3月から、「資源物」を収集しています。

平成24年度は、市内の各ご家庭から約850トンの資源物が出されました。集められた資源物は、「江別市リサイクルセンター」で処理を行った後、再商品化事業者に売却または引き渡しを行い、収益はリサイクルセンターの経費に充て、処理経費の節減を図っています。

市民の皆さんがルールを守って選別していることから、江別市で出されるペットボトルについては、品質調査



異物の除去などは人の手によって行われています。

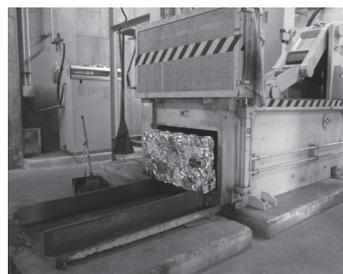
の結果、高い評価をいただき、高い値段で引き取られています。

一方で、ルールを守らないでごみステーションに出される事例も多く見受けられます。ルールを守らない多くの資源物がリサイクルセンターに入ってくることになれば、選別に当たる職員を増員しなければならなくなります。江別市が今後も環境に配慮したまちづくりを維持していくためには、市民の皆さんのご協力が重要です。

## リサイクルセンターの仕事

リサイクルセンターでは、市内の各ご家庭から出された資源物を有効利用するため、選別、圧縮、梱包などの作業をしています。

搬入された資源物のうち、ガラスびん、缶（アルミ・スチール）はまず、破集袋機と呼ばれる機械を使って、袋を取り除きます。次に袋が取り除かれた資源物に混入された異物やリターナブルびん（洗浄してそのまま再利用されるびん）を人の手で選別した後、



選別された資源物は圧縮され再商品化事業者へ

磁選機と呼ばれる機械に通しスチール缶を選別します。

その後、アルミ選別機によりアルミ缶を選別し、最後に残ったびんを人の手で無色びん、茶色びん、その他のびんに分別しています。

ペットボトルについても同様に破集袋機で袋を取り除いた後、手選別コンベヤに運ばれ、人の手で不純物の除去や、ラベル、キャップを外し選別しています。

紙パックは人の手で袋を破りフレコンバッグと呼ばれる大きな袋に詰めて、そのまま引き渡しています。

選別された資源物は、その後、圧縮などの作業を経て、再商品化事業者に引き取られます。

## ルールを守って経費節減

このように資源物の選別や洗浄は機械ではなく、大部分が人の手によって行われてい

## 再利用される資源物

皆さんから集められた資源物はさまざまなものに生まれ変わります。



資源物	用途
アルミ缶	アルミ缶、アルミホイールなど
スチール缶	スチール缶、鉄筋など
ペットボトル	衣類、カーペットなど
紙パック	トイレットペーパー、コピー用紙など
白色トレイ	CD ケース、プリンター、ボールペン、鉢など
ガラスびん	ガラスびん、道路の路盤材など

ます。容器に汚れが付着していたり、タバコの吸い殻やごみなどが混入されていると処理に時間を費やし作業効率が低下してしまいます。

また、搬入されたペットボトルにラベル、キャップが付いているものも人の手で外しており、分別のルールが守られていないペットボトルが大量に出された時は、選別作業員を増員して作業を行っている現状です。

リサイクルセンターの運営経費削減のため、分別の手引きをご覧いただき、ルールを守って資源物を出していただきますようご協力をお願いします。

【詳細】 減量推進課

☎ 383・4211

市で収集する

## 資源物のだし方 これだけは守りましょう

- 品目別（びんと缶は一緒の袋でも出せます）に中身が見える透明（半透明）の袋に収め、機械で破れない肥料袋や米袋などの厚い袋は使用しない。
- 容器は内容物を使い切り、付着物があれば洗い流す。
- ペットボトルは、キャップと帯（ラベル）を外し混入しない。
- びんはふたを外し混入しない。また、あきびん以外の耐熱ガラス、陶磁器などは燃やせないごみとして出す。
- 紙パックは水ですすぎ、開いて乾かす。
- 白色トレイは水ですすぎ、ラップは取り除く。
- 色付きトレイは資源物ではなく燃やせるごみとして出す。



# 夏場のごみ対策

水切りで、ごみも臭いもすつきり

毎年7月から9月にかけてごみが増えます。この時期は、野菜、果物などの消費が多く、ごみには水分が大量に含まれていますので、水分をなくすることで簡単にごみを減らすことができます。

水分の多い生ごみは、腐敗しやすく悪臭の原因となります。家庭での水切りがごみの減量や、環境クリーンセンターでの処理効率の向上、処理費用の軽減にもつながりますので、ご協力をお願いします。

燃やせるごみの3割が水分

夏場のごみの中で特に多いのは「生ごみ」です。

昨年の調査では、市内の家庭から出る燃やせるごみの約42%が生ごみでした。

一般に生ごみには70～80%の水分が含まれていますので、家庭から出る燃やせるごみの約3割が水分ということになり、昨年1年間では約6000トンもの水分がごみとして出されていたことになります。

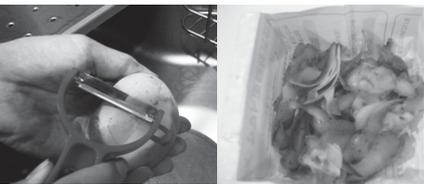
## ごみの量を減らす 水きりのコツ



生ごみの70～80%は水分です

### ポイント1

はじめから濡らさない



野菜、果物の皮などは洗う前に取り除いて、乾燥させた後、直接ごみ箱へ

### ポイント2

しぼる



水切りネットや市販の水切り器などを使って水気を切っておき、最後にひと絞りする。

### ポイント3

乾かす



お茶ガラやティーバックは水気をしぼってから乾かす。

【詳細】 減量推進課 ☎ 383-4211

## 環境のことをもっと知ろう みんなで考えよう

私たちの生活と暮らしの中で身近な環境の話題をテーマに、5回連続講座を開催します。節電、自然エネルギー、自然環境などさまざまな観点から環境のことを学びます。

◆会場 野幌公民館。

※第3回見学会はバスを使用します。市民会館前集合は、13時30分、解散は16時30分頃の予定です。

◆定員 40名（先着順）。

◆受講料 無料。

第3回見学会はバス代千円要（当日徴収）。

◆申込 8月7日（水）から電話かファクスで申込。

◆その他 ①原則5回連続受講としますが1回のみ受講もできます。②同講座は道民カレッジ連携講座として実施します。

◆申込・詳細 環境課 ☎ 381・1019 FAX 382・7240

回	日時と会場	テーマ・講師など	内容
1	8月21日（水） 14:00～15:30 野幌公民館 研修室5号	メガソーラー発電所の今後の展開 ◆お話し／ソーラーフロンティア（株）代理店営業本部代理店販売部 横山 俊文さん	再生可能エネルギーの固定価格買取制度の開始など、低炭素社会の実現に向けて導入が促進されている事業用太陽光発電システム。八幡地区に立地した江別ノーザンフロンティア発電所の稼働状況から太陽光発電の可能性を探ります。
2	9月4日（水） 14:00～15:30 野幌公民館 研修室5号	お天気から読む四季と環境～江別における冬の気象～ ◆お話し／酪農学園大学環境システム学部 環境気象学研究室 准教授 馬場 賢治さん	わたしたちの生活とかわりかかわりの深い天気について、今回は、江別の冬の気象、特に風雪を伴う気象について過去の例をもとに、その対応・対策について学びます。
3	9月18日（水） 13:30～16:30 江別市民会館前 集合・解散	施設見学会 江別ノーザンフロンティア 発電所	江別ノーザンフロンティア発電所の施設見学を行い、太陽光に限らず、世界・国内のエネルギー政策・動向、発電所の市場動向などを学びます。
4	10月7日（月） 14:00～15:30 野幌公民館 研修室3・4号	地域と地域をつなぐグローバル思考で考える江別市の自然環境 ◆お話し／酪農学園大学環境システム学部 環境GIS研究室 教授 金子 正美さん	北海道は日本でもっとも自然豊かな地域と言われますが、江別はどうでしょうか？航空写真から、今と昔の江別の変化を学びます。
5	10月19日（土） 14:00～15:30 野幌公民館 研修室5号	省エネ・節電のコツと取組み ◆お話し／家庭の省エネエキスパート 岡崎 朱実さん	北国は、冬場にエネルギー消費量が多くなります。そこで、暮らしの中でできる省エネ・節電の工夫、コツなどを学びます。

## 夏休みリサイクル教室

古くなったり壊れたりしたデジタルカメラや携帯電話などの小型家電を皆さんはどうやって処分していますか？



この春、新たに「小型家電リサイクル法」が始まりました。どうして小型家電のリサイクルを行うのか、どのようにリサイクルを行うかを楽しく学んだ後、グループ毎にノートパソコンの解体体験に挑戦し、中に入っているものが入っているか調べてみましょう。

夏休みの自由研究として取り組んでみませんか？

日時／8月10日（土）14時～15時  
会場／野幌公民館2階工芸室  
対象／市内にお住まいの小学生・4年生（先着30名）持ち物／筆記用具 申込／8月5日（月）～8月9日（金）の8時45分～17時15分に電話で申込。住所、氏名、電話番号、学校名および学年をお聞きします。  
その他／解体に必要な工具は用意します。

◆申込・詳細 減量推進課 ☎ 383・4211